|  |
| --- |
| 実技課題「ＣＡＤによる「ＸＹステージ」部品図作成」実施要領 |

以下はあくまでも目安です。各施設の環境、訓練生の習熟度を考慮し、アレンジして使用して下さい。

① 試験時間について

　・　試験時間は240分（4時間）です。休憩時間は適宜決める。

　・　休憩中は必ず作業をやめさせる。（受講者の端末をコントロールできるシステムがあれば、ロックする）

　　例

　　説明（30分） → **試験（60分）**　→　休憩（15分）　→　**試験（60分）**　→　昼休み（45分）　→

**試験（60分）**　→　休憩（15分）　→　**試験（60分）**　→　途中経過印刷・解説（30分）

②　準備

・ 配付資料

① 問題（課題説明）

② 「XYステージ」組立図 （A0100） 　 １枚

③ その他の部品図 （A0001,A0003,A0004,A0007,A0008） ５枚

組立図はA3、その他の図面はA4とし、１：１で印刷して配付する。

・ 各施設で使っている表題欄や図枠の入ったテンプレートを用意して、使用する。

・　表面粗さなどの記号は、既に部品登録してあるものを利用してかまわない。

・ 資料、電卓持込可とする。はめあい記号を記入するので、「はめあい」に関する資料を用意させる。

・　ＣＡＤを立ち上げ、テンプレートを開いた状態から試験を開始する。

③　課題作成、試験提出について

　・　課題作成は、必ず作成工程計画（訓練課題作成手順）に書かれている工程番号順に行うように指示する。

　・　時間内（4時間）に2枚完成を標準とするが、3枚目も完成させる努力をするよう指示する。

　・　各課題部品図に対する細かい指示が問題に書かれているので、よく読むように指示する。

　・　１つの図面を作成し終えたら、その都度印刷させる。試験終了時に完成していない場合は、指導員の指示に従って途中経過を印刷し、全て揃えて提出させる。

　　　（“終了時点のファイルを提出させる”などして、試験終了後の作図はやめさせる。）

④　採点

　・　「作業工程計画書（訓練課題作成手順）」において、何番の工程番号まで終了したかを判定する。工程の途中と判断すれば、その前の工程番号まで終了とする。

　・　終了した工程番号までを採点シートに従って採点する。それ以降は0点として計算する。

　・　かくれ線の有無は、図形の形状が正しく理解できれば、解答例と違ってもかまわない。

　・　「重要寸法」はその寸法が入っていなければならないが、その他の寸法は他の寸法から計算で出せれば可とする。

　・　それぞれの図面に対して各採点シートの集計ができたら、訓練課題確認シートの対応する箇所に転記して、総合評価を出す。